

# 評判呼んだ

## 「防災拭い」に全国から注文

盛岡市東中野にある企画制作プロダクション、クワンの高橋けい子社長に、東日本大震災津波の対応と、ヒット商品の「防災拭い(ぬぐい)」について聞いた。東北大学の今村文彦教授が監修した図説を染めた手ぬぐい。「グッズ編」「地震編」「津波編」の3種を同社が企画し、販売している。今回の震災では手ぬぐいが避難に役立つところがあり、全国から注文が押し寄せているという。1枚525円。

「防災拭いが役立つ」と言われたそうです。高橋 震災から1カ月してから、宮古市の「シートピアなあと」の部長さんから聞いた。なあとには宮古高校が作った津波を起す模型がある。その模型を防災手ぬぐいと合わせて皆さんに紹介しても

### 企画会社クワン販売

「防災拭い」は、津波の恐ろしさについて。なあと海沿い、すぐ波打ち際にあるので津波の防災訓練を地域の力りキョラムに取り入れていた。あの日もそれが生きていた。お客さんもスタッフもいて皆命を失わず無事に避難できた。「防災拭い」に、どういふことをすればいいか、こうなつたときはこうして、次にこうしてと、ぱつと見て分かるイラストで書いていたから、手ぬぐいのおかげで命が助かったと電話をもらった。



防災拭いを紹介する高橋社長

わたしたちの力はわずかだが、一人でも多くの人の命を救い普及させたいという思いがあった。初年度は50枚も売れなかった。今は全国からとても問い合わせがある。最初に紹介してくれたのは東急ハンズだった。九州から札幌まで店がある中で、一番最初に紹介してくれたのは新宿店だった。各店に届くまで時間がかかっているが。

「災害時の心得は。高橋 今村先生が言う災害時の事故はパニックになること。平常心でいれば大事な順番を冷静に判断する。走

らつていた。津波の恐ろしさについて。なあと海沿い、すぐ波打ち際にあるので津波の防災訓練を地域の力りキョラムに取り入れていた。あの日もそれが生きていた。お客さんもスタッフもいて皆命を失わず無事に避難できた。「防災拭い」に、どういふことをすればいいか、こうなつたときはこうして、次にこうしてと、ぱつと見て分かるイラストで書いていたから、手ぬぐいのおかげで命が助かったと電話をもらった。

「いま、どんなこと

に取り組んでいるか。高橋 全国に向けて義援金付きで防災手ぬぐいをわたしたちの商品を販売している。岩手を応援したいという人たちが、防災に限らずうちの商品を義援金付きで販売している。通常の価格で売っている物に、上に載せた分を義援金に充てる。最初は岩手らしいものと思っていた。うちが作ったかわいいうグッズも、岩手で作った物として。岩手の人たち頑張つてと、岩手の経済の役に立ちたいという他県の人たちの思いやお話があるので、義援金シールを作つてすぐ売った。また代理店からは、落語家協会にパイプがあり、岩手の商品を寄席で販売したいと言つた。問い合わせはクワン(電話019-604-3080)へ。